

日経AR対応紙面作成ガイドライン

ver.4.3 (2021.11改訂)

本ガイドライン改訂履歴

□2021.10 月改訂

p.3 ●ARの説明表記..."「AR」はアルファベットを全角" → "「AR」はアルファベットを全角大文字"
に修正。

p.5 ●ロゴのカラーバージョン使い分けについて..." ロゴマークは原則カラーロゴを使用してください。
(カラー原稿でモノクロロゴを使用しない旨)" を追記。

p.6 ●禁止例サンプル画像...ブルーの背景にモノクロロゴを乗せたサンプルを背景モノクロに修正。
カラー原稿にモノクロロゴを使用した NG 例を追加。(原則カラー原稿にはカラーロゴ使用)

p.9 ●短縮版ガイドラインとして P8 単独頁でも成立するように画像など追加。

p.10 ●入稿仕様を更新 (入稿素材、データ形式等)。

p.11 ●入稿フローを更新。

※改訂履歴ページを追加 (本頁)、全体にページ番号を追加。

※別途、p.9 をベースとした1ページの短縮版ガイドラインを新規作成。

□2021.11 月改訂

p.10 ●入稿仕様を更新 (動画推奨 20MB、上限 50MB)。

必ず入れていただく要素

- 日経ARシンボルマーク+ロゴタイプ
- アプリ誘導文言



ロゴマークについては、本ガイド 5) の
ロゴマークガイドもご参照ください。
サイズは、推奨の最小表示以下にならなければ
変更可能です。モノクロでのご掲載も可能です。

以下の要素を明記ください。

- 1) 日経ARアプリをどこにかざすのか。(かざす写真や図のことをマーカと呼びます)
- 2) 何を見ることができるのか。
- 3) アプリの詳細は「日経AR」で検索。

1) 2) の表現は必要な内容が入っていれば任意で作成ください。

3) はこのまま使用ください。

ただし、QRコードを入れる場合は明記不要です。

説明文のフォント指定はございません。級数は通常原稿制作規定に準じます。

「日経AR」の「AR」はアルファベットを全角大文字で表記してください。

表記例①：日経ARアプリを○○にかざすと、△△をご覧いただけます。
アプリの詳細は「日経AR」で検索。

※誘導文言中の「○○」は、誰が読んでも誤認しない表現かどうか確認し、
場合によっては変更のご相談をいたします。

例：日経ARアプリをこの広告にかざすと、…



広告範囲の認識が人によって違う可能性があるため、要変更。

表記例②：日経ARアプリをキャラクターの顔にかざすと、可愛い動画が観られるよ。
アプリの詳細は「日経AR」で検索してね。

スペースがあれば入れていただきたい要素

- QRコード+「ダウンロードはこちらから」文言
- アプリ注釈文言



アプリの
ダウンロードは
こちらから

QRコード部分については、本ガイド 5) の
ロゴマークガイドもご参照ください。
文言のフォント指定はございません。
級数は通常原稿制作規定に準じます。

「日経AR」は無料アプリです。通信状況、端末、
OSのバージョンなどによっては動作しない場合があります。

注釈文言のフォント指定はございません。
級数は通常原稿制作規定に準じます。

要件によって入れる必要がある要素

- コンテンツの公開期間が1週間より短い場合の注釈

※デフォルトの公開期間は1週間です。この設定の場合は記載は不要ですが、
「掲載当日で終了」「3日間限定」など短期間での公開設定の場合、その旨を記載してください。

表記例：日経ARアプリをこの広告の写真にかざすと、ARコンテンツをご覧いただけます。
アプリの詳細は「日経AR」で検索してください。
ARコンテンツは〇月〇日までご覧いただけます。

- 動画コンテンツに音がある場合の注釈

表記例：この広告のARコンテンツには音声が含まれます。
再生される際にはあらかじめご注意ください。

ロゴマーク最小表記サイズ

ロゴの視認性を維持するため、印刷物における最小表記サイズは右に示す最小サイズよりも小さいサイズでは使用できません。



あくまで最小サイズなので、できるだけ、これより大きく扱ってください。

ロゴマークで使用する際は、シンボルマークとロゴタイプの大きさの比率や位置を変えて使用しないでください。

ロゴマーク使用の際の注意事項

- ロゴマークの背景に色を使用する場合は、日経ARロゴマークが明確に見える色を選択してください。ロゴマークが見えにくくなる色や模様を使うことは避けてください。濃い色や模様の中に使用する場合は、ロゴマークの上下左右に十分な余白エリアを設け、ロゴマークの視認性を確保してください。
- ロゴマークは原則カラーロゴを使用してください。モノクロ原稿などカラーで表現できない環境の場合に限りモノクロロゴを使用可能です。
- ロゴマークの色を変更すること、半調（グレーや薄いブルー）にして使うことや、白抜きにして使うことは禁止です。
- ロゴマークにアウトライン（フチ）を加えることは禁止です。
- ロゴマークに、タテ長、ヨコ長、斜めなどの変形を加えることは禁止です。

禁止事項 例



濃度差のない色に乗せない

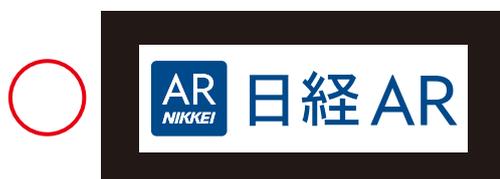


濃度差のない色に乗せない

ロゴマークを半調にしない



ロゴマークが見えにくくなる背景に乗せない



ロゴマークを白抜きにしない

ロゴマークにフチをつけない



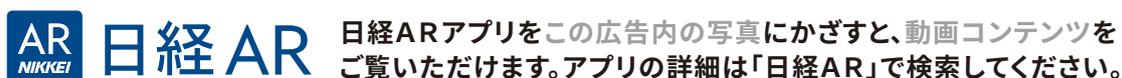
カラー原稿でモノクロロゴを使用しない

3) 日経AR 必要要素を紙面挿入する際の組み例

紙面挿入 組み例

紙面に入れる際の要素の組み方例です。そのまま使用できます。
紙面構成の都合で、タテヨコの位置関係を変えても構いません。
必要最低限の要素は、必ず全て表記してください。

必要最低限の要素の例 **グレーアミ文字の部分は例・可変です。**



QRコードも入れた例 **グレーアミ文字の部分は例・可変です。**

日経ARアプリをこの広告内の写真にかざすと、
動画コンテンツをご覧いただけます。
アプリの詳細は「日経AR」で検索してください。



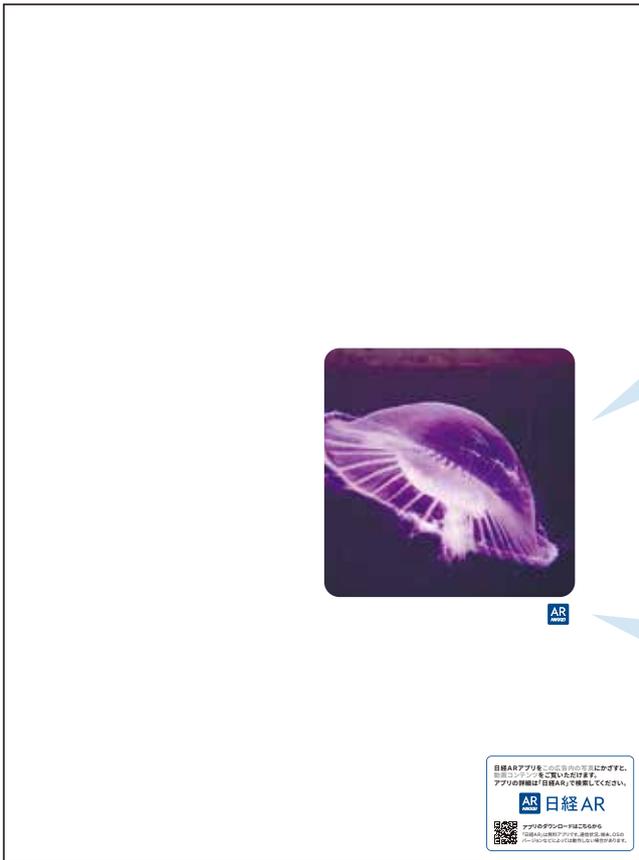
アプリのダウンロードはこちらから
「日経AR」は無料アプリです。通信状況、端末、OSのバージョンなどによっては動作しない場合があります。



日経ARのシンボルマークが
QRコードのサイズより、
極端に小さくなってはいけません。

題字下・記事・突き出しなど、小スペースの広告での表記についてはお問い合わせください。
日経ARや対応する広告制作に関するお問い合わせは以下までご連絡ください。
nikkei-ar@nex.nikkei.co.jp (日経の担当営業をメール宛先にCC.に入れてください)

15 段 挿入イメージ



ARコンテンツへ、より効果的に誘導するために

実際にアプリをかざす図や写真 (マーカー) は、なるべく「日経AR」の説明と近い配置が望ましい。

実際にアプリをかざすマーカーの近くに、日経ARのシンボルマークを配置するのが望ましい。

実際にアプリをかざすマーカーの周囲は、ホワイトスペースを広く取るのが望ましい。

実際にアプリをかざすマーカーの四つ角をカッコで囲う、などのデザイン処理を施すと、マーカーの認知が高まる。

5 段 挿入イメージ



半5 段 挿入イメージ



- 実際にアプリをかざすマーカーは、なるべく
 - ・色調や濃度にメリハリがある
 - ・輪郭のはっきりした人物、文字、イラストを含む画像である方が、より認識率が高まります。
 - マーカー画像に関し、汎用性が高いものや繰り返し利用される可能性が高いものは、誤認の恐れがあるため、設定することはできません。
- 例：日経ARのロゴマーク
 ※日経AR対応紙面にほぼ記載されているため。

5) 日経AR ロゴマークガイド

4C C100+M75+Y20

| R10 G62 B111

1C K100

| R0 G0 B0

ロゴタイプ

日経AR

日経AR

NIKKEI AR

NIKKEI AR

シンボルマーク



ロゴマーク



シンボルマークとロゴタイプの比率や位置を変えて使用しないでください。
ロゴマークは原則カラーロゴを使用してください。モノクロ原稿などカラーで
表現できない環境の場合に限りモノクロロゴを使用可能です。

アプリQRコード



アプリの
ダウンロードは
こちらから

QRコードの最低推奨サイズは13mm角です。
読み取りテストは必ずおこなってください。

アプリ説明
必要最低限の例



日経ARアプリをこの広告内の写真にかざすと、動画コンテンツを
ご覧いただけます。アプリの詳細は「日経AR」で検索してください。

説明文のフォント指定はございません。級数は通常原稿制作規定に準じます。
「日経AR」の「AR」はアルファベットを全角大文字で表記してください。
グレーアミ文字の部分は例・可変です。

□日経AR サブ色指定・推奨色
(ロゴには使用しないでください)

4C M45+Y90

□よくあるNG例



ロゴマークが見えにくくなる背景に乗せない



カラー原稿でモノクロロゴを使用しない

6) 各種ARデータ仕様規定

リンク

リンクURL	半角英数（掲載前に開通必須）
バナー用テキスト	10文字以内・絵文字可
	※動画・静止画にバナー追加表示が可能です。
	※リンクのみの場合はバナー表示されません。

静止画

ファイル形式	.jpg .png
容量	10MB以内 / 枚。総計 15MB推奨。
登録可能点数	10点まで ※スワイプで遷移します

動画

		補足
ファイル形式	.mp4	動画規格の1つ（拡張子）
コーデック	H.264 / MPEG-4 AVC	動画圧縮規格の1つ
プロファイル	ベースラインプロファイル (Baseline Profile)	圧縮技術・表現方法などの定義
レベル	Level 3.1 / @L3.1	映像の品質を決めるパラメータ
フレームレート	15～30fps	1秒間に表示される描画数・コマ数
ビットレート	500～1500Kbps	1秒間に送信されるデータ容量
容量	20MB 推奨 (登録可能な容量は 50MB まで)	動画のサイズ容量が大きいと DL に時間がかかります。

※静止画：png形式の場合、透過部分は保持されます。

※動画：ファイル容量が大きい場合、こちらで調整させていただく場合があります。

※動画：グリーンバックで作成いただくとクロマキー処理（透過処理）可能です。

※3Dオブジェクトの仕様詳細は下記URLの2ページ目をご参照ください。

https://adweb.nikkei.co.jp/ar/lp/pdf/ar_nyukokitei.pdf

※その他ご不明な点は、日経営業担当者までお問い合わせください。

入稿について

- ①掲載原稿PDF
- ②再生するARコンテンツ（動画、静止画、3Dオブジェクトなど）
- ③リンクURL（リンクご希望の場合）

新聞広告入稿日の4営業日前までに日経の営業担当者へお送りください。
ARコンテンツ設定後、紙面掲載前にアプリにてコンテンツをご確認いただけます。

設定期間について

コンテンツ公開から1週間となります。

設定期間中は、日経に掲載した新聞広告以外でも、
同様のマーカ画像からARコンテンツを表示することができます。
当ガイドライン「1）-2」にも関連項目あり。

※8日間以上の設定を希望される場合は、日経営業担当者までご相談ください。